

二〇二六年度 神戸女学院大学 文学部 総合文化学科

小論文 試験問題

(解答はすべて解答用紙に記入すること)

問 次のテーマの中から一つ選び、一〇〇〇字以内で自由に論じなさい。

- 1 メディアとわたしたち
- 2 教育とわたしたち
- 3 ジェンダーとわたしたち
- 4 グローバル社会とわたしたち
- 5 環境問題とわたしたち
- 6 経済とわたしたち
- 7 社会福祉とわたしたち

小論文
解答用紙
(1)

[illegible]

200

入試制度名

受験番号			

—小論文解答 1—

二〇二六年度 神戸女学院大学 文学部 総合文化学科

小論文
解答用紙
(2)

受験番号

[illegible]

600

二〇二六年度 神戸女学院大学 文学部 総合文化学科

小論文
解答用紙
(3)

[illegible]

1000

入試制度名

受験番号			

解答用紙の受験番号と受験票の受験番号とを照合すること

選択テーマ 「環境問題とわたしたち」(1000 字以内)

解答例

環境問題は、地球規模の大きな話題として語られることが多いが、実は私たちの日常そのものに直結した、最も身近な課題である。なぜなら、環境の変化はすでに私たちの生活の細部にまで影響を及ぼしており、未来のためには対策が急務だからである。

まず、気候変動は最も私たちの身の回りにある出来事だ。ここ数年、夏の暑さは耐えられないレベルに達し、私の学校では体育の授業が屋外でできない日が続いた。部活動も短縮され、熱中症で保健室に運ばれる生徒もいた。気温上昇は地球温暖化の影響であり、私たちはすでに環境問題のただ中にある。家庭でも環境問題の影響を感じる場面がある。例えば、天候不順による不作のため野菜の価格が高騰することがある。その背景には異常気象の増加がある。環境問題は、食卓にも影響を与えているのである。

さらに、私たち自身が環境に負荷をかけていることもある。私は以前、コンビニで飲み物を買うたびにペットボトルを捨てていた。しかし、学校の清掃活動に参加して、「自分の行動が環境を汚しているかもしれない」と強く感じた。海岸清掃に参加した友人は、「砂浜に落ちていたごみにはプラスチックが多く、普段私たちが使っているものだった」と話していた。環境を壊しているのは〈誰か〉ではなく、〈私たち自身〉なのだ。

では、私たちはどう行動すべきか。私は、「小さな行動から始めること」が最も重要だと考える。マイボトルの使用、買い物袋の持参等は、一つひとつは小さな行動だが、積み重なれば大きな力になる。行動は小さくても、確実に未来を変える力を持っている。さらに、環境問題に向き合うためには「知ること」が欠かせない。授業やニュースを通して科学的な知識に触れ、再生可能エネルギーやリサイクルの仕組みを理解することで、日常の選択に責任を持てるようになるのではないだろうか。知識は行動の土台であり、環境問題を〈〈自分ごと〉〉

として捉えるための第一歩だ。また、一人ひとりの意識や行動が周囲にも広がっていけば、社会全体をよりよい方向へ変えていく大きな力になるはずである。

私は、環境問題は「未来のための課題」ではなく、「今すぐ取り組むべき課題」だと考える。私たちが行動すれば、未来は変えられる。環境を守るとは、未来の自分たちの生活を守ることである。だからこそ、私はこれからも環境問題を「私たち自身の問題」として捉え、できることから行動し続けたい。(995 単語)